10　家庭

学校番号	202

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」（東京書籍）						
副教材等	１８歳成人に向けて　おとなドリル						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	自分らしい人生をつくる	○家庭科で何を学ぶか ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○生涯発達の視点 ＊生涯発達のグラフを書いてみよう ○青年期の課題 ＊自分を見つめる ＊自立度チェック ○目標を持って生きる ＊自分の将来を考えよう！具体化しよう！ ○人生をつくる ＊一人暮らしのメリットデメリット ＊パートナーと暮らすメリットデメリット ＊子ども・親と暮らすメリットデメリット	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a：家庭科の内容について関心をもち、主体的に自身の生活に関連させようとしている。 各ライフステージについて目標や課題をみいだす態度が見られる。 b：各ライフステージにおいて自身の生活を向上できるよう考えられる。 c： 各ライフステージの課題に対応した意思決定ができる。 d：各ライフステージについての課題が理解できている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 発表
		○家族・家庭を見つめる ＊家族について考える（これまで・これから） ＊結婚するにあたっての条件 ＊貧困について考える ＊生活費や子育てにいくらかかる？ ○これからの家庭生活と社会 ＊家庭の機能の社会化について考える ＊つながる力とは？	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：現代の家族・家庭について自分の家族や家庭を振り返り、関心を持とうとしている。 b：現代の家庭について傾向や課題を見いだし、その対応を考えることができる。 c：家庭の機能と社会との関係について、具体的例を挙げ、活用等の意志決定ができる。 d：家族・家庭に関わる基本的な知識が理解できている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 発表

2	生活を設計する	○生涯を見通す ＊人生の選択肢を考える	○	○	○	○	a：自らの生活設計について意欲的に取り組もうとしている。 b：自らの生活設計に対応する生活資源は何かを具体的に考えることができる。 c：ライフステージを関連させて、生活設計ができる。 d：生活設計に関わる知識を理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査
2 ・ 3	住生活をつくる	○住生活について考える ＊家を買う ＊家を借りる ＊どの物件が良いか ○住生活の計画と選択 ＊住宅内の事故の可能性について考えよう！ ＊防犯や丈夫な家を考える ＊インテリア・色の効果を知る ○住生活の文化と知恵 ＊和風と洋風どちらが好み？ ○これからの住生活	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：住居の機能や文化などに興味を持ち、取り組んでいるか。 b：日本の住居の現状や問題を把握し、課題を考えることができる。 c：生活の質を高めるための住居計画ができる。 自分に合う住まいの選択ができる。 d：住居に関わる科学的な理解や住居に関わる基本的な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 発表

1 ・ 2	経済生活を営む	○職業生活を設計する ＊フリーターと正社員の違い ○計画的に使う ＊生活費いくら必要？ ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ＊円高・円安の違いって？ ○現代の消費生活 ＊契約についてのDVD視聴 ＊18歳成年になったら、何が変わる？ ＊悪質商法のDVD視聴 ○消費者の権利と責任 ○これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：家計と社会の関わりや現代の消費の課題について関心をもっている。 b：消費者の権利や果たす役割について考えることができる。 c：不測の事態に対応でき、リスク管理ができる。環境負荷を考え、生活できる。 d：消費に関わる基本的な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート
2 ・ 3	高齢者社会を生きる	○高齢者を理解する ○高齢者の心身の特徴 ＊高齢者に聞く ○高齢者を支える ＊高齢者体験 ＊高齢者介助体験 ○これからの高齢社会 ＊高齢者の生活についてイメージしてみよう！	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：高齢者について関心をもっているか。 b：高齢者の自立を支えるために必要なことは何かを考えられる。 c：高齢者との関わり方や高齢者の生活を支える福祉に関して活用できる。 d：高齢者に関する心身の特徴や生活、高齢者福祉に関する基本的な知識が理解できているか。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート

3	共に生き、共に支える	○私たちの生活と福祉 ＊自分のクオリティオブライフとは？ ○社会保障の考え方 ＊こんな時どうする？ ○共に生きる ＊自分たちにできるボランティアってなんだろう？ ＊身近なユニバーサルデザインを探そう！ ＊地域の防災力を高めよう	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：ノーマライゼーションの考え方に関心をもっている。 b：自立した生活を営むことについて考えられる。様々な人々と支え合って生きることの重要性を考えられる。 c：様々な人々と主体的関わることができる。 d：共生社会に必要な知識を身に付けているか。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。